

2018年度日本建築学会大会(東北)
建築歴史・意匠部門
研究協議会資料

歴史的建築の担い手

—新しい保存と活用—

2018年9月

日 本 建 築 学 会
建 築 歴 史 ・ 意 匠 委 員 会

025

49)

2018

目次

主旨説明／永井康雄（山形大学）	1
研究協議会概要	2
目次	3
主題解説	
(1) ヘリテージマネージャーの役割と可能性／塩見 寛（静岡県ヘリテージセンターSHEC）	5
(2) データベースの共有／池上重康（北海道大学）	10
(3) 近現代建物緊急重点調査とデータベースの活用／内田美知留・氷室敦子（神奈川県建築士会）	12
(4) 震災復興－東日本大震災／関口重樹（宮城県教育庁文化財課）	18
(5) 震災復興－熊本地震／伊東龍一（熊本大学）	23
(6) 文化財保護法の改正について－文化財建造物の保存活用計画について－ ／梅津章子（文化庁文化財部参事官付（建造物担当））	27
(7) 建築基準法 3 条 1 項 3 号の「その他の条例」について／後藤 治（工学院大学）	31
(8) 近代建築の保存と活用／山崎鯛介（東京工業大学）	34